

桜山4丁目町内会通信

平成29年11月25日
桜山4丁目町内会
発行責任者 細川 進

<https://sakurayama-4choume.jimdo.com> 200

●桜山4丁目町内会通信200号記念

桜山4丁目町内会通信は平成11年7月24日に1号を発行してから今回200号を迎えました。200号を記念して町内会の取り組みや町内会の道の辺あれこれを紹介します。

○元町内会代表 誉田恒郎 氏

私は町内会代表の2代目として平成18年から平成22年の5年間代表を務めました。その間の取り組みの中で次の事柄が思い出されます。納涼祭の時にポップコーン機を社会福祉協議会から借りてきたこと、水道路古桜の保全活動の基礎を鈴木造園さんのご指導ご尽力のもと築けたこと、地域活動では上桜山連絡協議会に参加し市に要望書を提出して、向原踏み切りの砂利道の舗装、池子踏み切りは歩道がいたみ、歩行者の安全確保に問題があるとし、踏み切りの拡幅を進言して歩行者通行帯(グリーンベルト)が出来たこと等です。現在、桜山4丁目町内会は加入者も増加(平成22年227世帯、平成28年277世帯)し行事の内容も年ごとに充実しており、誠に喜ばしく思います。今後の益々の発展を祈念いたします。



○元町内会代表 愛 恭輔 氏

私は平成23年4月から平成28年3月の間代表を務めましたが、皆様方の協力により楽しく過ごさせていただきました。町内会には発足時に関わりましたが、当事の会員の加入数は120世帯でしたが、現在は280世帯と広がりを見せており、少しはお役に立てたことと自負しております。町内会の役割は、町内に住まわれている方々の相互の親睦や日頃の安心・安全の地域づくり、災害や防災に対応する組織作りや啓発、環境への取り組み等いろいろとあると思いますが、今後も皆様と共に活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



○現町内会代表 細川 進 氏

皆さんこんにちは、桜山4丁目町内会の細川です。月日のたつのは早いものですね？振り返ると町内会も来年は設立から20年を迎えます。素人集団が模索を繰り返しながら、先ずは町内に関わる情報を発信しようと、設立と同時にスタートさせた“町内会通信”も今回の発刊をもって記念号となる200号に達しました。これも購読してくださる会員皆様のご協力とご支援があったからこそその結果であると感じています。取込むべき課題が山ほどある中、記念号に相応しい活動をと意気込んできたものの、まだまだ歴代の代表に肩を並べるだけの域には程遠い事を実感しております。今後も会員皆様のご協力を頂きながら、生の声を拾いつつ実のある活動を進めて行きたいと考えています。笑顔をもって向こう三軒両隣の町内会を、皆さんと共に目指しましょう。



●桜山 4 丁目町内会の取り組み

桜山 4 丁目町内会では、安心・安全な地域づくりとお互いが楽しく触れ合っ
て明るい場となるような地域づくりを目指して、皆さんの協力を得ながら
いろいろな取り組みを行なっております。これらの取り組みを紹介しま
す。



総会を 4 月に開催しています。



田越川の清掃は年 4 回実施しています。



納涼祭を 7 月に開催しています。今年から子供神輿が登場しました。



年 2 回古桜の手入れをしています。



10 月に文化展を開催しています。

町内会ではこの他に、安心安全の取り組みとして地域の防犯パトロールの実施や沼間小学校区避難所運営訓練、逗子市総合防災訓練に積極的に参加を行なっております。また、沼間小学校区地域連合会や上桜山連絡協議会参加し他地域との連携を図っています。近隣の人達との触れあいではラジオ体操やサロン桜山への活動があり、呼びかけを行なっています。これからもよろしくお願いいたします。



餅つき大会を 12 月に開催しています。

●桜山 4 丁目の道の辺あれこれ

桜山 4 丁目町内の道の辺りを見てはいかがですか。新たな感動があるかも知れません。



庚申塔

池子踏切り近くにある庚申塔で右側が宝暦 4 年(1754 年)に左側が天保 2 年(1831 年)に作られました。



荒神社

水道路のヨークマート入り口左側にあり矢部家の所有です。赤子の夜泣きを止めてくれるといわれています。



古桜

水道路に唯一残された桜で樹齢約 80 年の染井吉野桜です。



賽の神



賽の神裏の道祖神

池子踏切り側にあり、耳の治癒にはご利益があるとのこと。道祖神は道中の安全、村や町に邪気や悪霊が入るのを防ぐ等の路傍の神様です。



蓮沼橋

水道路が作られた大正 3 年～10 年の頃に最初に造られました。



川畑橋

安永 2 年(1773 年)には、この場所に造られていました。



東橋

安永 2 年(1773 年)の村名細帳記録には記載があります。



中原橋

昭和 10 年代に作られた池子弹薬庫に通ずる道にかけられた橋での橋の袂に昭和 15 年 5 月竣切の文字があります。



●桜山 4 丁目町内会通信への寄稿

最近の気候変動をなが〜い目で見ると

〜 大昔の桜山 4 丁目はどんな風景だったか? 〜

最高気温 40° C・記録的集中豪雨・超大型台風・・・異常気象は地球温暖化が関係しているともいわれています。人類の営みも原因となります。気候変動を調べてみました。(専門家ではありませんのであしからず)

過去 80 万年(地球の年齢は 46 億年なのでつい最近です)では約 10 万年周期で寒冷期(氷期)と温暖期(間氷期)が繰り返されているとのこと。現代と同じか暖かい時期は全体の 1 割程度。地球の公転軌道と地軸の周期的変化によるとか。約 1 万 1 千年前後に氷期が終わり、現代は間氷期。(中川毅「人類と気候の 10 万年史」)人類の力が及ばない領域ですね。まだ温暖化が続くのか、氷期に向かい寒冷化に進んでいるのか、気になりますね。

日本では縄文時代(約 15,000 年前から約 2,500 年前)の 7,000 年前〜6,000 年前頃陸地の氷が解けて海水面が上昇しました。「縄文海進」といいます)「池子遺跡群発掘調査記録」によると、縄文時代の住居跡は発見されませんでした。約 6,000 年前は池子の谷深くまで海の入江だったとされています。今の桜山 4 丁目地区も似た地形なので東逗子駅付近まで逗子湾が入り込んでいたそうです。

次の時代の弥生時代(約 2,500 年前から約 1,700 年前)では旧青少年会館から観蔵院付近にある持田遺跡あたりの丘陵地に人が住んでいた痕跡があるそうです。(市文化財調査報告書第五集)その頃の桜山 4 丁目は入り江だったのか海が後退し田越川流域の湿地だったのか、水田耕作は始まっていたのか想像してみてください。(武藤 浩二)



4丁目から持田遺跡



床を平らな石で敷き詰めた住居跡(縄文時代後期伊勢原市)



弥生時代の池子地区で使われていた農具

今の桜山 4 丁目

面積は

逗子市の面積 : 17.28 平方キロメートル 桜山 4 丁目の面積 : 約 0.16 平方キロメートル

世帯数は (平成 27 年 10 月)

逗子市の世帯数 : 24,318 世帯 桜山 4 丁目の世帯数 : 443 世帯

住民は (平成 27 年 10 月)

逗子市の住民 : 56,492 名 桜山 4 丁目の住民 : 992 名

なお、町内会が発足した平成 11 年の町内会の世帯数は 389 世帯で住民は 975 名でした。世帯数は当時と比べ増えましたが、住民の数にはあまり変化がありません。